



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第14号 令和2年6月24日発行

挨拶の輪を広げましょう

前回、全校集会で「挨拶」について話したことをお伝えしました。その後のことを書きたいと思います。

次の日から、例えば朝の集団登校の時に、以前に比べて「自分から」「相手を見て」「聞こえるように」挨拶する児童が増えてきました。「おはようございます。」さわやかな声を聞くと、その日一日がすてきな日になるように感じます。特に、集団登校の班長さんの挨拶が上手です。中には、毎朝「校長先生、教頭先生おはようございます。」と挨拶する児童もいます。なんとすばらしい挨拶ができる子だろうかと感心してしまいます。また、校内で出会った時に、「こんにちは。」と自然に挨拶する子も増えてきました。そして、会釈もできる子が増えてきています。

挨拶は、人間関係を円滑にする、大切な行為だと思います。少しずつ、挨拶の輪を広げていき、小原田小学校の良き伝統のひとつにしていければと思います。

学習について

国語科の学習で大切なことの一つは、物語文の「主題」説明文の「要旨」を理解することです。筆者が何を伝えたいのか、を読み取る力です。そのために、言葉の意味を理解したり段落相互のつながりを考えたりする学習を積み重ねていきます。そうすることで、国語科の能力向上、ひいては全ての学習の能力向上にもつながります。

ある時、教師の研修会で、「子どもたちに国語の力がなかなか身に付かない、読解力が高まらない、どうすればいいか。」と質問がありました。その時、ある高校の元校長先生から、「一つだけあげるなら『要約力』を向上させることです。文章を読んだり話を聞いたりした時に、「内容を一言で言えばどうなるか。」「内容を簡単にまとめるとうなるか。」等、話の中心を捉え、端的にまとめる経験を数多くさせることがその後の学びにとっても有効である、という話がありました。

漫然と文章を読んだり話を聞いたりするのではなく、「話の大切なポイントは何か。」を意識することが大切なのだということです。このことは、自分の考えを文章や話で伝える時にも大切だと思います。



学習の様子から

各学年で体育の学習が行われています。マット運動や高跳び、リレー等、様々な運動に取り組んでいます。体力と運動能力の向上に向け、目的をもって頑張っています。

体育の学習では、運動量を確保しつつ、タブレットで撮影して技の出来具合を確認したり、学習シートで自分を振り返ったりもしています。「〇〇秒で走りたい」「〇〇ができるようになりたい」等、明確に目標をもち、それに向かって努力することで効率的な学習ができます。

全ての学習に共通する「わかる」「できる」ようになるために、体育でも自分の目標に向かって日々学習に取り組んでいます。